

個別課題について

(介護・福祉人材関係)

No.	課題名	課題の趣旨目的	想定される事業内容(具体的内容、手法、成果物及び活用方法)	上限額
24	外国人介護人材の介護現場における就労実態等に関する調査研究事業	<p>EPA介護福祉士候補者及び介護職種の技能実習生において、現在は、就労開始後6ヶ月を経過した者について、介護技能や業務に必要な日本語能力がある程度向上することなどの理由により、介護施設の人員配置基準等に算入しているところ。</p> <p>介護現場からは、就労開始直後から人員配置基準への算入を望む声がある一方で、審議会等において、現場の詳細な実態について明らかにすべきではないかとの意見が寄せられているところ。</p> <p>このため、本調査研究を実施することにより、介護現場のEPA介護福祉士候補者及び介護職種の技能実習生の配置基準に係る実態を明らかにし、調査結果を報告書としてまとめることで、今後の施策の検討材料とすることを目的とする。</p>	<p>1. 具体的内容・手法</p> <p>① EPA候補者及び介護職種の技能実習生を受け入れている介護事業所等(法人・事業所・外国人本人)に対し、左記の外国人介護人材の就労実態等(主に人員配置基準算入に関する実態等)に関するアンケート調査(法人及び事業所については郵送調査とし、外国人本人についてはWEB調査とすることを想定。)を実施し、その結果について整理・分析を行う。</p> <p>2. 成果物及び活用方法(施策への反映)</p> <p>上記①について、報告書としてまとめること。また、調査結果に基づき、EPA介護福祉士候補者及び介護職種の技能実習生の人員配置基準に係る検討の材料とする。</p>	2,000万円